



夏見台幼稚園・保育園 ニュースレター 2022.1.10 号

夏見台幼稚園・保育園でのこ
わりをニュースレターにまとめます。どうぞご覧ください。
※配信停止の方はメールでどうぞ (info@treponte.jp まで)

〒273-0866 船橋市夏見台 2-16-1 夏見台幼保園

幼児期からのいじめ・不登校対策①

いじめは深刻な問題です。小学校3, 4年生から目立って起こり、中1～2でピークとなります。いじめ予防は、小学校に上がる前の幼児期から考えておくことも1つの方法です。

まずは文科省が行った大変有名な長期研究を紹介します。

これは、大都市近郊のある地方都市で行われました。市内すべての小中学校19校の全校生徒を6年間追跡します。

特筆すべきは、「個人を特定できる形」で調査を行ったことです。つまり、小学4年生のA君が6年間、学校で「いじめ」とどう関わったか。何回、どれくらいいじめられたか、わかるのです(ここでいういじめとは「仲間外れ・無視・陰口」のこと)。

ここで1つ考えてみてください。

2004～2009の6年間
市内の全小中学校の全生徒(19校)
個人を特定できる形での追跡調査

小4～中3の6年間、
いじめ被・加害経験者は？

? %



小4～中3の6年間、いじめ被・加害経験者は全児童・生徒のうち何パーセントだったか？答えは、なんと90%！

被害者は毎回大きく入れ替わります。いじめを受けてもある時期になると止み、また他の誰かが始まる。そんなことがくり返されます。誰もが「いじめ」と無縁ではられないのです。

では小4～中3の6年間、不幸にもつねにいじめられ続けたのは1000名中何名でしょうか？

2004～2009の6年間
市内の全小中学校の全生徒(19校)
個人を特定できる形での追跡調査

小4～中3の6年間、
いじめられつづけたのは？

? / 1000人

答えは3名。つまり0.3%の生徒が、残念ながらつねにいじめの対象であり続けました。

いじめっ子になる3大要因もわかりました。

いじめっ子になる3大要因

- ① 友人とのストレス
 - ・勉強、顔やスタイルをからかわれた
 - ・悪口を言われた
- ② 競争的価値観
 - ・成績、顔やスタイルが悪いとみじめ
 - ・人より得意なものがないとみじめ
- ③ 不機嫌・怒り

第1位:友人とのストレス。「勉強、顔やスタイルをからかわれた」「悪口を言われた」が大きなストレスとなり、他人へのいじめになります。

第2位:競争的価値観。「成績、顔やスタイルが悪いとみじめになる」「人より得意なものがないとみじめになる」などが引き金となります。

第3位:不機嫌・怒り。これはもっともな理由です。

以上の3大要因のうち、第1位の友人とのストレスは圧倒的要因でした。いじめから守ってくれるのも友達。いじめに加担するのも友達。いったい誰を信じたらいいのか、といった感じでしょうか。

意外だったのは、「親からのストレス」「教師からのストレス」は、それほど大きないじめっ子になる要因ではありませんでした。やはり、

鍵は「ともだち」

将来のいじめ問題に、幼児教育はどう対処すべきか。私たちの解答が「異年齢保育」なのですが、それは次号でまとめるとして、ここでは1冊の本を紹介させていただきます。



『不登校は1日3分の働きかけで99%解決する』(森田直樹著、リーブル出版)。本の内容をひとことで表すと、子どもをよく観察し、毎日、最低3個のよい点を見つけ、ほめる、となります。「毎日」「最低3個」がポイントです。

私はかねてより「三行日記」というものを推奨してきました。これは、楽観性を高めるための訓練法で、ハーバード大学の心理学者による実験です。

3週間、毎日3つの Good ニュースを書くこと。その間、Bad ニュースは無視。次第に Bad 中の Good に気づきやすくなり、物事のとらえ方が変わります。切り替えが早くなり楽観的になるのです。

この手法を、親が子どもに向かって行うのがこの本のやり方です。子どもをよく観察しないとできません。つまり、この本が問うているのは、子どもに「正面から向き合うその姿勢」なのです。

いじめ問題が深刻なのは、それをきっかけにして、「不登校 → ひきこもり → ニート」と進むことで

す。仮に不登校になっても、まだ学校という所属先があります。しかし高校を卒業したとたん、無所属になります。社会とのつながりが切れるのです。

現在は通信制高校も増えてきました。進学クラスに入れば、偏差値の高い大学にも合格できるようになっています。意欲さえあれば、どうにかなります。

しかしその意欲が、今おびやかされています。

誰でも長時間スマホやゲームを続けると、頭がぼんやりし気力が失せてきます。強い刺激に引きずられ、自分本来の「主体性」が眠ったままになります。

この状態になると、自分の好きなことをやろうにも、その意欲がない、出ない、だから再びネットの世界に戻っていく…

最近「メタバース(仮想空間)」という言葉が話題です。これからは仮想空間でも経済活動ができてしまいます。いくらでも現実逃避できるのです。

それでもいいではないか、それが新しい世代の生き方だ、という意見もあるでしょう。ただ私たちの肉体は、この「リアル」世界に存在します。いつかは現実に変えるのです。

また食事も気になります。ひきこもると、菓子パンやお菓子、ジュースばかりというケースも多いです。砂糖漬けになり、ますます脳内の炎症が進み、うつ状態になります。

児童精神科医の故佐々木正美先生が、ニートを持つ親へのアドバイスとして次のようなことを話していました。

「とにかく手作りのものを食べさせるといいです。手作りのケーキでもいいです。子どもはその愛情を食べるのです」

次号では、幼児からの対処についてまとめます。
(終)